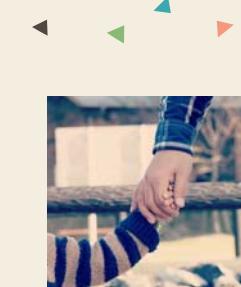




私たちの
 「シアワセ」
 色々なカタチ



当冊子をHPでも
ご覧いただけます。



「福岡県にこにこ家族づくりポータルサイト」
 結婚から妊娠、出産、子育てまで、ライフステージに応じた
 切れ目ない支援情報を発信！

福岡県にこにこ家族づくり
<http://kazoku.pref.fukuoka.lg.jp/>

福岡県 福岡県福祉労働部子育て支援課 TEL:092-643-3311 FAX:092-643-3260





私たちの存在が
夫婦の絆を深めてくれる
何より大切な宝物を
しっかりと守り育てる日々

恋人時代を経て結婚し、家族になった私たち。
以前に増してお互いに対する愛情や
思いやりが深まつた。
それはきっと私たち夫婦のかけがえの
ない「子ども」の存在があるから。
地元を離れ、不慣れな街で暮らす不安も
迷いも当然あるけれど、でも大丈夫。
友達も家族も遠くで見守って応援し
てくれている。

今の暮らしで知り合った新しい仲間も、
通りすがりの人もみんなやさしい。
だからこそ、私たち4人は家族の絆を
ぎゅっと結んで一步一歩進んでいか
なくちゃ。

私たちの 「シアワセ」 色々なカタチ

〈CONTENTS〉

01 私たちの「シアワセ」色々なカタチ



11 パパだってがんばりたい！
仕事も育児も大好きイクメン



13 子育てしながら在宅ワーク
仕事も家事もこなす両立ママ



15 福岡 子育てサポート
WE LOVE FUKUOKA
FUKUOKA Girls 座談会

21 私とあなたが紡いだ幸せの 730days
～私たち夫婦の出会いから結婚～

23 FUKUOKA 縁結びスポット
～シアワセを見つけに出かけよう～

25 ラブフクハッピー家族
幸せフォト&川柳コンテスト
～入賞作品結果発表～

27 ラブフクハッピー家族フォーラム 2015

29 モデル 竹下玲奈さんインタビュー

30 Wedding Column
最旬ウエディングドレス



12年間ずっとといつでも一緒に歩んできたいろんな道たくさんの思い出と共に未来もゆづくり歩いていこう

僕たちが夫婦になつて12年。

仕事の都合で何度も転勤し、引越しを経験したけれど、いろんな街で生活する事も出来たね。

こんな経験も楽しい思い出になり、2人にしか分からぬ笑い話がたくさん増えた。

そして今、朝起きてから夜眠りに就くまで、側に大切な人がいるしあわせ。何気ない会話をBGMに美味しい手料理を頂く食卓の時間。

こんな毎日を決して「当たり前」と思わず、君を守りながら、そして2人で支え合い、この先もずっと一緒に居たい。これからもどうぞよろしくおねがいします。



3人の娘と夫婦2人の声が弾む賑やかな我が家。いつでも5人揃えば大丈夫最高の笑顔こそがパワーの源！

同じ街で育った幼なじみの私たち。2人の思い出も、恩師も、友達もみんな一緒。そんな私たちが結婚して、3人の子どもに恵まれ今では5人の家族に。結婚しても困った時は、昔と変わらずいつでも私の強い味方でいてくれるあなたが大好き。

そして、笑った顔も泣いた顔も怒った顔も、ぜーんぶ夫婦2人にそつくりな3人の娘たちを見ていると、「ああ、私たちの子どもなんだな」ってしあわせな気持ちになる。

あつたかいリビング、5人でドーナツを頬張るおやつタイム。

こんな時間が愛おしい。
娘たちとあなたの笑顔が私の元気の源です。



「家族っていいな」と毎日思える幸せな暮らし

栗原さん夫妻の実家は広島と千葉。福岡にはまつたく縁がなかつたけれど、昨年久留米市に自宅を購入。「出身地ではない土地で暮らしていこうと思えたのは、福岡にはあたたかい心を持った人が多いと感じたから。子どもと一緒に公共交通機関を利用すれば、老若男女問わず席を譲ってくれたり、『子育てがんばってね』と、見知らぬ人からも励ましの言葉を掛けてもらえます。以前住んでいた街ではあり得ない光景でした。人のやさしさに触れる度に心が和み涙が出そうな程、うれしい気持ちになります。いつか、頂いた親切心を私も誰かにそつとお返ししたいなと思っています」と咲子さん。

福岡は子育てがしやすく、街全体が子育てに力を入れていると感じるご夫妻。「子どもを持つ家庭を大切にしている街はみんなにやさしい街だと思います。住まいの周辺には美術館があり、福岡ならではの食文化も多様で、自然もたくさんあるので、子育て環境に恵まれています!」と康幸さん。



自然にたくさん触れ合える公園へ家族でおさんぽ。

今回訪れたのは…

久留米市鳥類センター

所/久留米市東柳原町中央公園内
☎/0942-33-2895
営/9:00~17:00(遊園地は16:30終了)
夏期プール営業期間中は18:00まで(入園17:30まで)
休/毎月第2曜日(祝日の場合翌日)
※ 夏期プール営業期間中は休園日はありません。
および12月29日~1月1日



3歳の娘は小さなママ
「ふとした瞬間に姉弟が仲良くて
いる姿を見ると、とても幸せな気
持ちになります」と、咲子さんが話
してくれました。

みんなにやさしい街だから
「ここに住もう」と決めた



子どもと過ごす時間が何よりも宝物。

「仕事って楽しい！」と
子どもに感じて育つて欲しい

咲子さんは第1子の育休復帰当初は、もっと子どもとの側に居てあげたい、成長を見守りたいという葛藤があつたそう。しかし、子どもが保育園で先生や友達と関わりながら成長する姿を見て、「先生や友達から多くの刺激をもらえる保育園で過ごす時間も必要なんだと思えるようになりました」と話してくれました。「子どもと過ごす時間が短くなつても、私が社会の中で成長したり、誰かの役に立つことは今後の子育ての糧となるはず。『仕事は楽しいことなんだよ』と子どもに感じて育つて欲しいので、まずは自分が仕事を楽しむ姿を見せていただきたいです」と母の強さと優しさをみせてくれた咲子さん。その表情を見て、つこり顔の陽衣ちゃんが親子の絆を感じさせてくれました。



profile
栗原康幸さん(32才) 咲子さん(29才)
陽衣ちゃん(3才) 明誠くん(6ヶ月)
久留米市在住の4人家族。

お互いに尊敬し合える人と暮らす
こんなに心強いことはない！

栗原さん夫妻は、同じ会社の同期社員。昔からお互いのことをよく知っていたため、付き合いから結婚までの道のりは自然な流れだつた。『プライベートな部分も、職場でのオフィシャルな部分も含めてお互いに尊敬できるパートナーでした』と咲子さん。

就寝前のわざかな時間は、その日の出来事をたくさん話すように心がけているお2人。慌ただしい1日をいかにスムーズに活用できるか、何度も話し合い、試行錯誤しながら時間の調整管理をしている。『わが家のモットーは家族みんなが仲良く快適に過ごせること。問題が起きたら、その都度たくさん話し合しながら決めています』と、こやかに話すご夫妻の雰囲気が印象的でした。

何よりも咲子さんのことを第一に考え、行動するやさしい心を持つた康幸さん。咲子さんが第2子を妊娠した時期から、平日は朝昼晩の三食に加え、職場に持つて行くお弁当まで自分で作られているそうです。

「仕事と子育ての両立は決して容易ではありません。でも、家族一緒に乗り越えられる」と、信じているから大丈夫なんです。家族の誰かが楽しいと、家族みんな笑顔になるし、逆に苦しみや悲しみはみんなで分かれ合つて二歩二歩成長出来たらいいなど願っています」と咲子さんが笑顔で語ってくれました。

家族みんなで喜びも苦しみも 分かち合つて成長



親・兄弟への感謝のキモチ



見晴らしの良いお庭で、仲良くボール遊び。「おねーちゃん!! 次は私の番だよ!」



「お互い何十年も変わらない笑顔が好きです」と仲良し夫婦。



恩師からの贈り物
小学校時代の恩師から出産祝いに送られた手作りのままごとセット。
お気に入りのカメラでお父さんが家族写真をたくさん撮影。

子どもが描く未来の「道」をサポートできる環境づくり

いつだって姉妹は一緒。
「お母さんの絵描いたよー！」

最後に、大古場さん夫妻に『子育て』に関してお話しを伺いました。同級生だからこそ、相通ずる価値観や、お子様に対する想いが垣間見られました。

「子どもの頃たくさん遊んだ記憶は大人になつても忘れない宝物です。今はとにかくめいっぱい遊んで遊びを通じて『友情』や『思いやり』を感じてもらいたいですね。そして、親として子どもたちが将来を考える時、幅広い『道』の選択ができるよう環境を整えてあげたいと思っています」と、ご夫妻が語る側で元気にです」と続けて話してくれました。

両親から受け継いだ大切なバトンを私たちが子どもへつないでいく

花子さんは自身、3人兄弟の末っ子として生まれ、現在も兄弟仲良し。家族や兄弟に対する想いや感謝の気持ちが強く、互いの両親や兄弟との交流を大切にしているそう。

「子どもが生まれ親となった今だからこそ、改めて両親に感謝する日々です。『家族』を守るために時には苦労をしながら、頑張ってくれた両親のありがたさと偉大さを感じずにはいられません。だから今後は大切に受け継いだ家族の絆バトンを私たち夫婦が子どもたちへつないでいく番ですね」と花子さん。

「妻のお兄さん一家も福岡市内に住んでおり、甥っ子や姪っ子もわが家の娘たちと年齢が近いので、まるで友達のように遊ぶ姿が微笑ましいですね」と歩さんが語られ、さらに

花子さんが「3人の子育てはいつもドタバタで時間との勝負なんです。そんな時私の兄家族や姉に子育てを手伝つてもらつたり、互いの両親にですね」と、歩さんが語られ、さらに

花子さんが「3人の子育てはいつもドタバタで時間との勝負なんです。そんな時私の兄家族や姉に子育てを手伝つてもらつたり、互いの両親にお世話をしたりしています。家族や親族が身近に居てくれる所以で心強くなります」と続けて話してくれました。



profile
大古場歩さん(35才)花子さん(35才)
夏花ちゃん(9才)史花ちゃん(5才)
結花ちゃん(3才)福岡市東区在住の5人家族。

子どもたちの声が鳴り響く
毎日がお祭り騒ぎのような我が家

「おはよう！」と、毎朝大きな声が鳴り響く三姉妹の挨拶が大古場家の目覚まし代わり。ご両親にそつくりな3姉妹を互いの家族や兄弟と一緒に家族親類みんなで子育て真っ最中。

「毎日大騒ぎで姉妹がケンカをしている時はまるで音の中にいるようです(笑)。でも、3人が仲良く遊んでいる姿はシアワセそのもの。学校から帰ってきた子どもたちが話すその日の出来事を聞くのが好きなんです。ふと自分の子どもの頃を思い出し、何とも微笑ましくなるんですよ」と、花子さんが語ってくれました。



花子さんのお兄さんが作られた木製のままごと用キッチンは姉妹のお気に入り。



お2人は食べることが大好きだそうで、休日は美食を求めてよく外食へ。平日は近くのスーパーで1週間分買いだめした食材で料理を作り、のんびりと晩酌をするそう。佐代子さんは「趣味というほどではないですが、一緒に料理をしながら好きな音楽をよく楽しんでいます。この時間が何よりの贅沢」と言います。時々、部屋の壁一面をプロジェクターにし、映画と一緒に楽しむことも。友人を自宅に呼び、みんなが持ち寄った美味を「アテ」にホームパーティをすることが多いとか。「仕事で疲れて帰ってきても、妻と一緒にご飯を食べて、今日あつたことや、くだらないことを話すと気分が軽くなります」。その言葉に呼応するように、「お帰り」と言い合える人がいるって、本当にありがとうございます」と佐代子さん。



食材の買い物など、お散歩がてら出かけることが多いという森さん夫妻。

2015年に、福岡市・平尾へとお引越しした森さん夫妻。住まいは、建築関係の仕事を就く章郎さんのセンスと佐代子さんのアイデアが活かされた、リノベーション住宅。白を基調にした、明るい空間が印象的です。

「住まいは天神界隈で、美味しい飲食店が多い場所を探していました。徒歩や自転車で色々な場所へ行動しやすいのも魅力ですね」と章郎さん。聞けば、お2人はお気に入りの自転車で出かけることも多いそう。天神界隈や博多駅へのアクセスの良さも、このエリアの特徴です。「食べ物だけではなく、魅力的な人もたくさん。この街にはエネルギーと情報が満ちあふれています」と、お2人は顔を見合わせ、改めてここに住むことを決めた人生の良き選択を嘆み締めているようでした。

『お帰り』と出迎えてくれる存在がいることは何よりの幸せです』

2人が訪れたのは…



高宮通りのカフェで、コーヒーとチーズケーキを楽しむ休日のひと時。

abeki

所/福岡市中央区薬院3-7-13
2/092-531-0005
営/11:00~18:30
休/月曜日
交/西鉄大牟田線薬院駅、
地下鉄七隈線薬院駅より
徒歩約8分



お2人の住まい

やさしい光が射し込む空間へとリノベーション。
奥には章郎さんの仕事スペースが設けられています。

「前の職場でお世話になった方から結婚祝いに頂きました」と、今も大切に使われているお気に入りのフリーカップ。

夫婦ふたり、都心部で送る穏やかな生活

「結婚のきっかけ?うん……この人どつていう直感はお互いにあったと思いますが、気付いたら結婚してたっていうのが正直な感想です(笑)」。そう笑い合いながら、改めて12年前のお2人の人生の「第二歩」について語る森さん夫妻。それだけ、ごくごく自然な流れで互いの存在が当たり前のものになり、家族という唯一無二の存在になったということ。何気ないお2人の言葉のやり取りにも、揺るぎない穏やかさを感じられます。

お2人の出会いは、職場。東京の同じ建築事務所で働いていたそうで、最初の頃、佐代子さんにとって章郎さんは「ちょっと怖そな人」という印象だったという。「当時、かなり仕事が忙しくて、職場も少し殺伐としていたから怖く思っていたのかも…。でも、社内の若手の飲み会に2人とも参加して、お互いの距離が近づき、自然の流れで付き合うようになったんです」と章郎さん。その後、結婚して5年経った頃に、章郎さんの故郷である熊本県へ転居。そして、その2年半後に、ここ福岡県へとお引越しされたそうです。「福岡県は私には縁もゆかりもない土地でした。でも、食べ物が何でも美味しいくて、すぐに福岡が大好きになっちゃいました!」と佐代子さんは熱く語ります。

お互いの存在が“当たり前に”
自然な流れで結婚を意識

子育てをするうちに 子どもと一緒に自分も成長

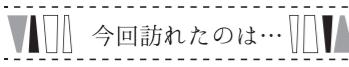


重松ババ

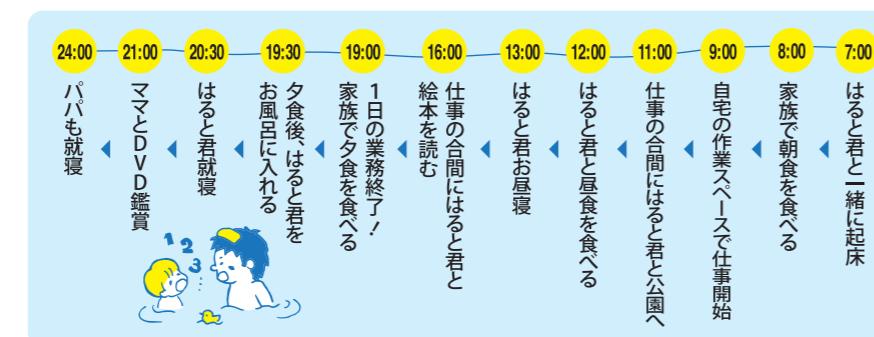


「絵本を読む」

絵本タイムは大切なコミュニケーションの時間とのこと。「一緒に絵本の世界を楽しんでいますよ」



[View all news](#) | [View all features](#) | [View all reviews](#)



ある日のパパのスケジュール

毎日の生活の活力に誰かのために想いか

子どもの誕生子育てを通して、さまざまな心境の変化があつたという重松さん。さらに、昨日出来なかつたことが今日は出来る、といったように手に取るようく子どもの成長が間近で感じられ、「毎日が発見の連続です」と顔をほころばせます。

最後に、「息子には、とにかく健康に育つて欲しい。それが一番の願いです」と一言。

自身のベースでのびのびと子育てを行ふ重松パパは、今日も仕事に育児に、邁進中です！



「誰かのため」の想いか
毎日の生活の活力に

子どもが生まれたら、親になるのはもちろんパパも一緒。ママと手と手をとり、育児を楽しみながら、子どもとともに“親”として成長していきたいものです。そんな育児と仕事との両立を、自身のペースでのびのびと実践する、重松さんとはると君の1日に密着しました。



「ふたりでお散歩」

午前中の仕事がひと段落したらお散歩へ。
「飛行機を見つけると、一緒に指を差して
見入っちゃいますね」

子育て世代に嬉しい街と自然が近い福岡この日、重松親子は行きつけの施設「シーメイト」へと出発。アスレチックや室内遊具が充実しており、ここは、はると君もお気に入りのスポットです。「私はフリー・ランスで仕事をしているので、スケジュールを調整すれば空いた時間に子どもと遊ぶことができ、子どもと接する時間がほかの人より長く取れます。だから、育児を妻と分担する意味でも、できる限り息子と一緒に居たいですね」と、重松さん。そこは、あくまでも育児を「手伝う」のではなく、「自らが行う」という一貫した姿勢です。また、子育てをする上で、福岡とはどんな街かと尋ねると、「近隣に公園や生活に必要な環境が揃っているし、都心と自然も近い。子育て世代にはありがたいですね」と、育児環境の良さを語ります。



子育て世代に嬉しい
街と自然が近い福岡



パンダのぬいぐるみはアジア旅行の思い出。福岡はアジアの玄関口。アジア旅行なら子連れでも旅費を抑えて行けますよ。ペンギンのぬいぐるみはおじいちゃんからのプレゼントで姉妹の宝物。

パンダのぬいぐるみはアジア旅行の思い出。福岡はアジアの玄関口。アジア旅行なら子連れでも旅費を抑えて行けますよ。ペンギンのぬいぐるみはおじいちゃんからのプレゼントで姉妹の宝物。



「イラストや執筆のお仕事」

「宿題をする子どもたちの隣で仕事をしたり、できるだけ同じ空間にいるよう心がけています」。仕事の締め切り前は、子どもたちが寝静まつた深夜に仕事をすることもあるそう。

夫やママ友の協力が働くママの支えになる

仕事が多忙な時期は、夫はもちろん、ママ同士が助け合うことも多いようです。

「執筆のために訪れた取材先で仕事が長引き、幼稚園のお迎えに間にあわない時はママ友が子どもを迎えに行ってくれたりと、働く私をサポートしてくれて本当に助かっています。子育ての大変さ、素晴らしい環境を共有できる友人がいることに感謝しています」と仁田さん。人との繋がりはもちろん、子育て環境も働くママにとって重要なポイント。

「福岡は子育てしながら働きやすい環境が整っています。都会だけ自然豊かで、どこ行くにも交通の便がいい。児童の保育施設も充実しているので無理をせずに子育てと仕事の両立ができるんじゃないかな。実際、私のまわりにも、県外から福岡に移住してきた家族が多いです」と、福岡の子育て環境の良さを語ります。

今年で結婚10周年。子どもが生まれてから初めて、家族みんなで海外旅行へ。こうやって旅行を楽しめるのも、日々仕事や子育てをがんばっているからこそ、ご褒美だそうです。

「すべてを一人で完璧にではなく
まわりに頼ることも大事」

仁田ママ



「田ママ特製のキュートなお弁当」



「掃除や洗濯」

子どもたちが学校に行っている間や、姉妹で遊んでいる隙に家事をする仁田ママ。「家事は私の担当ですが、原稿を提出する締め切り直前はパパが手伝ってくれることも」



子育てしながら在宅ワーク

仕事も家事もこなす 両立ママ

結婚後、子育てと仕事の両立ができるのか不安を抱く人も多いはず。どちらもひとりで完璧にこなすのは難しいけれど、夫やママ友、地域の支えがあれば、両立することも可能です。子育てと仕事に奮闘する働くママ、仁田さんに両立の秘訣を伺いました!



Profile

仁田茜さん(38才)と紺乃(ひの)ちゃん(7才)・橙子(とうこ)ちゃん(4才)。フリーランスのライター・イラストレーターとして活動する働くママ。

「家族との団らん」

仕事が一段落したら、リビングで子どもたちとカードゲーム。「お風呂で今日一日の出来事を聞いたり、添い寝をしたり、仕事が忙しくても必ず触れ合う時間を作っています」

タウン誌でイラストや執筆の仕事に携わってきた仁田さん。会社員としてフルで働きながら子育てをすることは体力的にも厳しいと判断し、フリーランスへ転身。前職で培った技術や経験を活かして自宅で仕事を続けています。

「在宅ワークの一一番のメリットは子どもと過ごす時間が長いことです。オフの切り替えが難しい時もありますが、子どもに自分が届く範囲内で仕事ができるのが嬉しいです」。

仕事と家事、子育てを両立することは決して簡単ではないけれど、毎晩子どもの寝顔を見ることは、決して簡単ではない。私が仕事で疲れていた時に、手作りの肩たたき券をプレゼンントしてくれたことがあります。「ママが喜んでくれるかな」と考えててくれたことを思うと、仕事の疲れも吹き飛びましたね」とつっこり。子どもたちも働くママを見て「支えたい」と思う気持ちが芽生えたようです。



本を出版!!

実践! おウチでチチ稼ぎ

～すさまじく時間にネットで始めよう～



フリーランス後に、自らの体験談を交えた本を出版。内職やアラバイト先を探さなくても、自宅でできるお小遣い稼ぎの方法を紹介しています。特別な資格などは必要ないので、子育ての時間にできることばかり!



安心して子育てができる!

福岡 子育てサポート



子育てに関する施設や制度などを知りたい!



子育て家庭にうれしいサービス・特典がいっぱい!

福岡県にこにこ家族づくりポータルサイト

結婚から妊娠、出産、子育てまでライフステージに応じた切れ目ない支援の情報を発信している福岡県のポータルサイトです。ポータルサイトでは、子育て情報を年齢別、目的別に検索できたり、市町村別の子育て情報等を掲載しています。是非ご活用ください。



福岡県が運営する福岡の結婚・子育てを応援するサイト
福岡県にこにこ家族づくり

Q&A

Q 産休や育児休業の申し出を断られたり、それを理由に解雇されたり不利益な取扱いを受けることはありませんか?

産休の取得や育児休業は法律で定められた権利で、これらの取得を理由として事業主が解雇やそのほかの不利益な取扱いをしてはならないと定められています。

不利益な取扱いを受けた場合は、福岡労働局雇用均等室(Tel: 092-411-4894)へご相談ください。トラブルの早期解決のための援助(労働局長による助言・指導・勧告)を行っています。(第三者機関「両立支援調停会議」による調停の申請を受け付けています)

Q 夫婦同時又は交互に育児休業を取ることはできますか?

共働きの場合、条件を満たしていれば夫も妻も育児休業を取ることができます。

また、夫・妻がともに育児休業を取得する場合、育児休業の取得可能期間が1歳から1歳2ヶ月まで延長されます。(パパ・ママ育休プラス)夫・妻1人ずつが取得できる休業期間(母親の場合、出生日以後の産前・産後休業期間を含む)の上限は1年間、取得できる回数は1人の子どもにつき原則それぞれ1回きりですが、妻の出産後8週間以内に夫が育児休業を取得した場合は、再度の取得ができます。

福岡県ではみんなが安心して子育てができるよう子育てに関する支援や情報提供を行っています。「知って得する情報」や「知って安心できる情報」をこまめにチェックして、幅広く子育てに活用してください。



仕事と子育てを両立したい従業員を応援!



子育てしながら、自分にあった時間や場所で働きたい!

福岡県子育て女性就職支援センター

「仕事も家庭も大切にしたい」。そんな女性たちのために、福岡県は、県内4か所(福岡、北九州、筑後、筑豊)の「子育て女性就職支援センター」において、専門のアドバイザーによる就職相談や保育情報・求人情報などの提供、子育て中の女性が働きやすい仕事の開拓や就職のあっせん、面接への同行、就職後のアドバイスなどアフターフォローまで一貫した支援を行っています。センターの利用は無料ですので、安心してご利用いただけます。

- 子育て応援宣言企業登録制度案内サイト

制度の概要、各宣言企業、宣言のメリット等がご覧になります。



子育て応援宣言企業登録制度案内サイト

子育て応援宣言企業

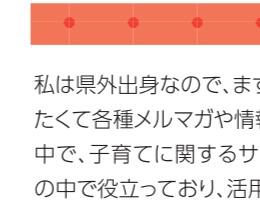
<https://k-sengen.pref.fukuoka.lg.jp/>

LET'S WORK!

働きたいママ応援サイト
福岡県子育て女性就職支援センター
<http://www.hataraku-mama.jp/>



(久留米市在住)
栗原 咲子さん



私は県外出身なので、まずは「福岡県」のことを色々知りたくて各種メルマガや情報をチェックしていました。その中で、子育てに関するサポート情報は本当に日々生活中で役立っており、活用しています。また、職場復帰を

妊娠当初より考えていたので、育児休業中もセミナーや講座に積極的に参加していました。子育てをしながらでも、職場復帰に関する情報を得られることが今後の仕事と子育ての両立の励みとなっています。



● 小児救急医療電話相談

子どもの急病について、看護師や小児科医が対応する相談窓口を設け、救急搬送や夜間診療についてアドバイスします。受付時間は、サイトなどでご確認ください。

福岡県小児救急医療電話相談 #8000

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/8000syonidenwasoudan.html>

● ふくおか医療情報ネット

医療相談や予防情報などの医療情報を網羅し、病院をはじめ小児科や助産所などの検索もできる福岡県の総合医療情報サイトです。

<https://www.fmc.fukuoka.med.or.jp>

● 救急医療情報センター

オペレーターが医療機関を24時間体制でご案内。

救急医療情報センター ☎092-471-0099

北九州市テレホンセンター ☎093-522-9999



配偶者が専業主婦(夫)でも育児休業は取れますか?

労使協定を定めることにより、配偶者が専業主婦(夫)である場合等の労働者からの育児休業申出を拒める制度は廃止となり、配偶者が専業主婦(夫)や家庭の夫(妻)、育児休業中であっても、育児休業を取得できるようになりました。

また、育児休業を取得した場合、条件を満たしていれば育児休業給付金が支給されます。支給額は、育児休業開始から180日までは休業開始前の賃金の67%、181日からは休業開始前の賃金50%が支給されます。支給期間は、原則、育児休業開始日から当該休業に係る子が満1歳の誕生日の前日(パパ・ママ育休プラス制度対象者は1歳2ヶ月に達する日の前日)までとなります。詳細については、事業所の所在地を管轄するハローワークまでお問い合わせください。

*本誌掲載の情報は平成28年1月末現在の情報です。制度改正などに伴い、変更となる場合がございます。

大好きな街で私らしく暮らす！
福岡だから叶えられる「夢と希望」



福岡には可愛くて素敵なカフェが街の至る所にあるのも特徴。友人や仲間と語らう時間は女性にとって大事な息抜きタイム。

FUKUOKA MEMO

福岡県は住みやすい!!

福岡県は「住みたい」「子育てしやすい」等の民間アンケート調査で上位にランクイン。都市と自然が調和している等幅広い世代にとってゆとりある生活が送れるという声が多く聞かれる。

Kana 「福岡も東京に劣らず、話題のショッピングや海外の人気店が続々とオープンしていく嬉しいですね！今後も都市開発が進む福岡の街でのショッピングや街歩きがますます楽しくなりそう！」

Chihiro 「みんな福岡出身で羨ましいです（笑）。私は長崎県出身ですが、学校を卒業して憧れの福岡で暮らし始めてもう10年以上過ぎました。地元に比べて福岡は仕事も遊ぶスポットもたくさんあるので『何でも揃う街』という印象が強いです」

Hitomi 「私も同じく福岡が大好きで旅行で他県から帰つて来ると自分の生きていく場所はやっぱりここだなって毎度痛感するんですよ。就職先の選択肢も多く、自分の努力次第で就きたい仕事も叶えられる仕事を精一杯頑張れるのもこの街を土台に生活しているからじゃないかな？と感じています」

Erika 「福岡の街で生まれ育ち、現在も福岡でライターとして働いています。日々、グルメなど色々な街を取り材しているからこそ、福岡の住みやすさや、暮らしやすさを感じることが多々あります。好きな仕事を精一杯頑張れるのもこの街を土台に生活しているからじゃないかな？と感じています」

私たちが魅了される
「住み心地が良い街」

交通の利便性が高く、企業や商業施設が集積する福岡。加えて、ファッショングルメが充実しているので、多くの若い女性が日々生き生きと生活し、社会でも活躍しています。そんな福岡をこよなく愛する女性4人に福岡の魅力や、福岡で叶えたい今後の夢と希望を語ってもらいました。



「みんなの幸せな話を聞くと、私も頑張ろう!と思っちゃう」

Kana「結婚や出産に関してまだ漠然としているけれど、付き合って1年になる彼と今後結婚に向けて将来の話をして、一緒に話すことって何より大事ですね。お互いのことを考えて行動すると、時に変たけど、いつでも2人一緒なら心強いし、どんな壁も乗り越えられそう」

Hitomi「異性の出会いだけに限らず、自分の人生にとって良い縁で出会う方々との時間は貴重だし、ずっと大切にしていくたいですね。特に結婚相手となる人は、長い時間一緒に過ごすので、価値観やお互いの将来設計をたくさん話し合っていくかなくちゃーって思います」

Erika「仕事をも結婚も子育ても決して一人では成し得ないから、一緒に生きていきたいと思える人に出会えることは本当に奇跡ですね。大人になるについ臆病になってしまいかがちだけど恋愛・結婚は、素直な気持ちと少しの勇気が大切な感じでいます」

大切な人と紡いでいく 未来の私のカタチ

FUKUOKA Girl



隈本佳奈さん(31才)
仕事:人材派遣 営業
趣味:漫画を読む、マッサージ

岩本ひとみさん(30才)
仕事:事務職
趣味:アロマ、ヨガ



北村千尋さん(33才)
仕事:パリスタ
趣味:寺社仏閣めぐり

森絵里花さん(28才)
仕事:ライター
趣味:食べ飲み歩き、料理



「仕事と結婚、子育ての両立って、やっぱり悩むよね」

Chihiro「福岡の女性はみんな輝いていて、他のどの街にも負けない気がする。キレイでオシャレな女性が多いから街を歩いているだけでもウキウキしちゃいます」

Hitomi「福岡の女性はみんな輝いていて、他のどの街にも負けない気がする。キレイでオシャレな女性が多いから街を歩いているだけでもウキウキしちゃいます」

Kana「その背景には女性の就業率の高さも関係しているのかな?友人が毎日忙しく仕事頑張っている姿を見ると、『私ももっと頑張らなきゃ!』と、良い刺激をもらっています」

Erika「職業柄、深夜残業が多い不規則な生活リズムですが、職場と自宅が近いため通勤時間が短く済んで助かっています。家賃も割と安い物件が多いので一人暮らしや共同生活がしやすいのも魅力ですね」

Chihiro「私は、バリ스타の仕事が好きで、天職だと思っています。年数を重ねる度にやりがいが増すね」

Hitomi「おめでとうございます!遠距離恋愛からの結婚、素敵ですね。私は今お付き合いしている人はいないけれど、友人夫婦の話を聞いたり、子育て中の友人を見て、『私もいつかは素敵な結婚生活を送りたいな』と思い描いています。その前に、独身だからこそ自分の時間が自由に使える今を大切にしています。昔から興味のあるアロマ検定に挑戦したり、ヨガスクールで心身ともに健康でいられるように頑張っています!」

Kana「そういう時間って大切ですよね。『あの頃、もっとやりたいことやつておけば良かった』と悔やむより、今の毎日を大切に過ごさなきゃ」と改めて思いました」

Chihiro「福岡の女性って同性の目から見ても『素敵だな』って思う人が多いですね。キレイでオシャレな女性が多いから街を歩いているだけでもウキウキしちゃいます」

Hitomi「福岡の女性はみんな輝いていて、他のどの街にも負けない気がする。キレイでオシャレな女性が多いから街を歩いているだけでもウキウキしちゃいます」

Kana「同じく私も、結婚後もきっと仕事を続けると思います。ただ、転勤を伴う職場なので結婚・出産となるとその辺りは会社と相談したり、パートナーと話し合って融通効かせながら進めたいですね」

Erika「私、実はフランスと福岡で、数年遠距離恋愛を経て、今年結婚することになりました。海外との遠距離恋愛は大変なこともありますけれど、今は帰国した彼と結婚に向けて一緒に楽しく暮らしています」

Kana「同じく私も、結婚後もきっと仕事を続けると思います。ただ、転勤を伴う職場なので結婚・出産となるとその辺りは会社と相談したり、パートナーと話し合って融通効かせながら進めたいですね」



リジョイス
(rejoyce 桜十字福岡病院カフェ)
所/福岡市中央区渡辺通3-5-11
桜十字福岡病院館内1F
TEL/092-791-1231
営/9:00~23:00
休/年中無休
交/西鉄大牟田線天神駅から徒歩10分
福岡市営地下鉄天神南駅から徒歩5分
渡辺通駅から130m

独身男女を“あかい糸”で結ぶ“あかい糸めーる”

メールマガジン「ふくおか“あかい糸めーる”」は、ご登録いただいたメールアドレスに、出会いイベントの新着情報を電子メールでお届けするものです。

イベント情報・メールマガジン配信登録は
[あかい糸めーる](#)

QRコード

福岡県出会い・結婚応援事業 検索

福岡県出会い・結婚応援事務局 Tel092-722-6111

「温かい家庭に憧れ、結婚の意欲はあるけれど出会いの機会が少なくて…」。福岡県では、独身男女に出会いの場を提供し、結婚のきっかけづくりを行つ「出会い系・結婚応援事業」を実施しています。この取り組みはボランティアで出会い系の場を提供する企業や団体が、「出会い系・結婚応援団体」として登録がされています。その情報をあらかじめ登録されている独身男女の方々にメール（あかい糸めーる）を配信しています。平成28年1月末現在「出会い系・結婚応援団体」は550団体が登録、「あかい糸めーる」の登録者数は5627人にのぼっています。平成17年度のスタートからこれまでにイベントは計2206回行われ、延べ5万6673人が参加しました。

参加者からは「県の推進事業なので安心」「普通の生活では知り合えない人と出会えた」「近年歳士で気兼ねせずに楽しめた」など



旅行好きな2人は交際中から色々な場所へお出かけ。毎年増える旅写真が夫婦の宝物。



霧島旅行の際、福一さんが得意な陶芸を美穂さんにも体験して欲しいとの希望で仲良くろくろ回し。

福一さん:「結婚前も結婚後も常に相手のことを第一に考えて行動するように心がけています。たくさん話しあうて、時にはゆずり合うと、お互いのきつかけになり、想像以上に絆も深まります」
美穂さん:「家事の仕方や些細なことで小さなケンカは多々あります(笑)。でも、ケンカする以上に日常のちょっとしたことを2人で分かち合い、共感出来る日々にしあわせを感じます」

福一さん:「休日や仕事から帰宅後、彼女と映画を見たり、ソファで窓ぐ時間が最高の癒しとなり、また明日から頑張ろうと思えます」
美穂さん:「私は本を読み、彼はパソコンに向かい、それぞれが別々のことをしているのに、同じ空間に居るだけで心地いいから夫婦って不思議ですね」

相手のことを第一に考えて 時にはゆずり合いも大切



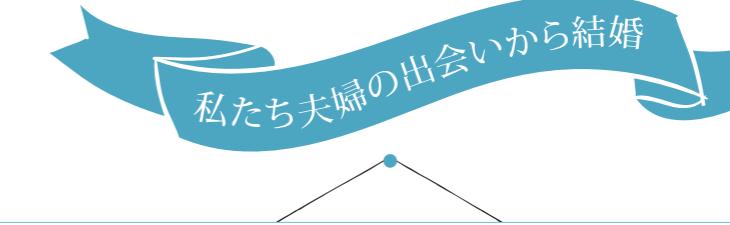
同じ目標に向かつて楽しく 結婚貯金でリアルな夢を描く



美穂さん:「交際中に私から彼を誘つて初めてブライダルフェアへ出掛けました。会場のキラキラした華やかなムードに感動しつつ、それまで漠然としていた結婚のイメージがしっかりと固りました」
福一さん:「男性の僕でも会場のしあわせ感溢れる雰囲気にわくわくしたことを覚えていました。また、結婚費用を知るきっかけになり、想像以上に

資金が必要なことに驚きました。でも、これを機に結婚貯金を始め、無事2年間で目標達成できました」
美穂さん:「貯金も2人の結婚式の為と思えば、意外と楽しめたのですよ。経済的な話しだけでなく、結婚式までのスケジュール決めも明確になり、結婚がよりリアルに進んでいくのが嬉しかったです」

私とあなたが紡いだ幸せの730days



福一さん(32才)・美穂さん(31才)
福岡県内にお住まいの結婚2年目を迎えるご夫妻。



同じ将来に向かつて一緒に歩める心強いパートナー

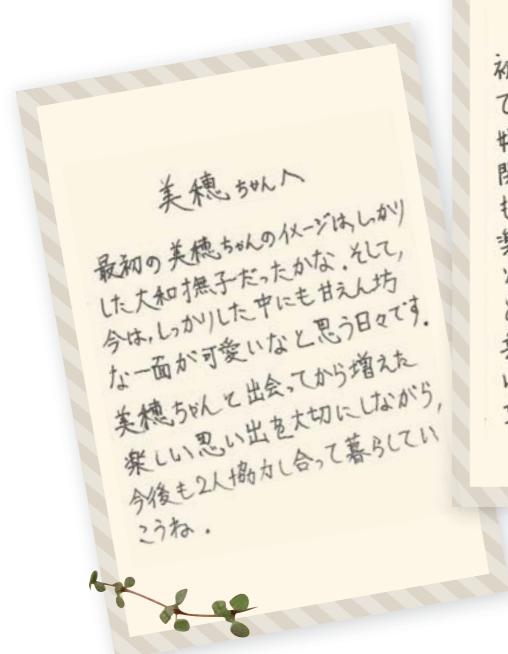


美穂さん:「初めて彼に会った時の印象は今でも変わらず、見た目通りやさしく安心感がありましたね。私たちは出会った当初からお互いに結婚を意識していたので、スムーズな流れで交際をスタートしました」
福一さん:「僕も結婚を考えていた時期だったので、最初から彼女とは結婚を前提に、お付き合いをしていました。また、結婚に対する価値観やイメージが同じだったので、比較的ゴーリーまでシンプルだったと思います」

美穂さん:「私は短大進学を機に福岡へ引越し、結婚するまでの約10年間1人暮らしをしました。一人暮らしの時は今後的人生や、将来について漠然とした悩みや、不安がありました。でも、その頃の悩みは結婚をしながら、心が強くなりました」
福一さん:「僕にとって彼女は心から安らげる大切な人ですね。仕事が多忙で疲れて帰宅しても、彼女の顔を見ると一日の疲れも消えるんですよ。また、夫婦共働きなので、家事など何事も協力し合いながら一緒に頑張っています」



新婚旅行の思い出が詰まったアルバム



福ちゃんへ
初めての美穂ちゃんのイメージはあしかりでした。大和撫子だったかな。そして、今は、しっかりした中にも甘えん坊な一面が可愛いなと思う日々です。美穂ちゃんと出会ってから増えた楽しい思い出を大切にしながら、これからもよろしくね。



幸せフォト&川柳コンテスト

入賞作品結果発表

テーマ

大切なひと
幸せな時間



再会ごっこ

久しぶりに再会した恋人同士のように、遠くから走ってきてママの胸に飛び込んでくる「再会ごっこ」が流行です。2歳になった息子。今では小さな恋人です。

写真部門

最優秀賞



幸せな時間

大好きなパパに絵本を読んでもらってニコニコ!つられてパパもニコニコ!!
そんな2人を見てママもニコニコ(^^)とっても幸せな時間です。
(表彰式コメントあり→P28)

優秀賞



息子は向日葵

生後二ヶ月を過ぎて、ようやく外にも出れるようになってきたので、朝倉市杷木にある道の駅(杷木口)に息子と向日葵を見に行きました。向日葵の様に逞いを込めて、沢山の向日葵と共に太陽の方に向かせました。また、向日葵の花言葉の「光輝」にかけて光り輝く人生を送ってほしいと言う願いと、「あなただけを見つめます」と言う花言葉の様にパパとママはあなたを見つめて、愛情いっぱいに育てますと言う誓いも込めました! 7月生まれの息子ちゃん! 向日葵の様に育ってね!!!

優秀賞



じいじ大好き

ゴールデンウイーク。久しぶりに会った大好きなじいじに抱っこされて、ござげんです。
(表彰式コメントあり→P28)

優秀賞



何気ない時間の大切さ

子どもが誕生して約半年がたちます。3人での生活は大変な事も多いですが、子どもと何気無い時間を過ごす時間は貴重で大切にしなければいけないとつくづく思います。子どもが見せる笑顔はたまらなく可愛いものです。これから沢山、想い出に残る写真を撮り続けていきたいと思います。
(表彰式コメントあり→P28)

ラブフクハッピー賞



仲良くお昼寝



はじめまして、わたし、おねえちゃんなんだよ

ラブフクハッピー賞



心も繋いで

ラブフクハッピー賞



はいどうぞ

ラブフクハッピー賞



はじめまして



ハッピーフamily

福岡県では、若者が結婚・子育てに希望を持てる社会を推進するため、「大切なひと・幸せな時間」をテーマとしたコンテストを実施しました。平成27年11月7日(土)に開催した結婚・子育てをテーマとしたフォーラムで入賞者の授賞式や応募作品全ての展示を行いました。入賞作品は福岡県にこにこ家族づくりポータルサイトにも掲載しています。

川柳部門

審査員特別賞

「はい、食べりい
食いしん坊も
母となる

たいママさん



エピソード
私は子どもの頃から食べることが大好きでした。
誰よりも美味しいものを口にしたいという気持ちが強かったように思います。それは大人になった今も変わりませんが、3人の子どもに恵まれ、にぎやかな食卓を囲むようになった今は、子ども達がおいしそうに食べている姿を見ると、それだけで幸せな気持ちに包まれます。
こうして、美味しいものは、自分が口にするだけではなく、子ども達に真っ先に食べさせてあげたいとの思いを持つように、子ども達と過ごせるおかげで、幸せの形が広がっていくんですね。

最優秀賞

「だいすきよ
頬すり寄せれる
同じ顔

栗原 咲子さん



エピソード
3歳の娘と「だいすきよ」と言って顔を寄せて抱きしめ合います。
ここにこ笑顔が母の私とそっくりです。幸せな時間です。
(表彰式コメントあり→P28)



ラブフクハッピー賞

結婚で居場所見付けし 息子かな
二宮正博さん



ラブフクハッピー賞

傍に君 テーマパークもほっこりと
怪傑スバットさん



ラブフクハッピー賞

孫を抱く 父母の姿に ありがとう
れんママさん



ラブフクハッピー賞

家族とは 手と手を繋ぐ 絆だよ
ラクスケさん



ラブフクハッピー賞

うしろから ギュッとだきしめツーリング
池崎弘道さん

優秀賞

鍋囲む
湯気の向こうに
孫三人

池崎弘道さん

優秀賞

大の字で
同じ寝相の
父息子

あんパン娘さん



ラブフクハッピー賞

赤い糸で 紺深めて
阿部 龍さん

幸せフォト&川柳コンテスト(☞P25)表彰式

「大切なひと・幸せな時間」をテーマに募集した写真&川柳の作品展示、表彰式が行われました。受賞者には福岡県の特産品や記念品を贈呈。壇上で作品に対するエピソードを語ってもらいました。

受賞者の声

川柳部門 最優秀賞

栗原 咲子さん

母親なら誰しも感じたことがあるであろう子どもへの想いを、川柳に込めてくれた栗原さん。「だいすきよと顔を寄せて抱きしめた時、自分とそっくりな娘の笑顔が鏡に映っていました。そんな日常のふとした瞬間が、心から幸せだと感じます」



写真部門 優秀賞

宮崎 裕一朗さん

家族団らんのワンシーン。タイトルの通り「何気無い時間の大切さ」を教えてくれます。「子どもと過ごす何気無い時間は、貴重で大切にしなければいけない時間だと日々実感しています。これからも思い出に残る写真を撮り続けていきたいです」



写真部門 最優秀賞

もっくんママさん

作品タイトルは「幸せな時間」。「出勤前の忙しい時間を割いて絵本の読み聞かせをしてくれているパパ。ニッコリ笑う嬉しそうな我が子の表情に、思わずパパもママもニッコリでした」。寝る前には夫婦で絵本の読み聞かせタイムを設けているそう。



写真部門 優秀賞

mihonokaさん

親・子・孫の3世代で織りなす「家族の時間」にエントリーした1枚。孫を抱きかかる写真のタイトルは「じいじ大好き」。「ゴールデンウイーク、久しぶりに会った大好きなじいじに抱っこされて娘はご機嫌。じいじも溢れんばかりの笑顔で出迎えてくれました」



ハッピー家族 フォーラム2015

恋愛から結婚・子育てまで!

2015.11.7
JR博多シティにて
開催しました!

レポート

誰もが安心して子どもを生み、育てられる社会づくりを目指す福岡県。その一環として、結婚や子育ての楽しさ、家族の素晴らしさをテーマとしたフォーラムが開催されました。「幸せフォト&川柳コンテスト」の表彰式や、モデルの竹下玲奈さんを迎えてのトークセッションなど内容盛りだくさん! 笑顔の絶えない会場の様子を紹介します。



ブライダルファッションショー

純白ドレスに思わずうっとり



人気ブライダルサロンの「ジュノ」「タカミブライダル」「アールイズ・ウエディング」「クチュールナオコ」の4社が参加し、最新トレンドのウエディングドレスを紹介。純白のウエディングドレスを身にまとったモデルたちが、会場を華やかに彩りました。

子育てトークセッション

三者三様の子育てライフ!

司会進行はラジオパーソナリティのTOM Gさん。竹下玲奈さんには、結婚に至るまでの過程や子育てなどについてオープニングで語ってもらいました。ケン坊田中さんのユーモアと本音がにじむパパトークで、終始笑いの絶えないトークセッションになりました。



TAKAMI BRIDAL

「来年の2月に挙式を予定しています。結婚式の前にウエディングドレスを色々試したくて、姉と一緒に応募しました」(千秋さん)



COUTURE NAOCO

「ウエディングドレスは女性の憧れ。目で見ると実際に着るとではドレスのイメージがまったく違うことに驚き!」(美里さん)



ARLUIS WEDDING

「ウエディングドレスを初めて試して結婚への意識が高まりました。私も竹下さんのように内面から輝く女性になりたい」(よしこさん)



JUNO

「友達の結婚式に参列してウエディングドレスって素敵だなと感じ、思い切って応募。すっごくドキドキしました!」(あいさん)

wedding dress

ウエディングドレス 試着体験

fitting experience

ウエディングドレスの試着体験に応募者多数!
憧れのドレスに着替えた後はプロによる撮影タイム。
ロビーは賑やかなムードに♪

ステージでは、「幸せフォト&川柳コンテスト」の表彰式をはじめ、「ブライダルファッションショー」、人気モデルの竹下玲奈さんによるトークセッションが行われました。1児の母である竹下さんは、子育てと仕事の両立、家族を持つことの大切さなどについてお話を伺いました。ロビーにはコンテストに寄せられた写真や川柳のパネルを展示。ウエディングドレスの試着体験も楽しめるなど、結婚や子育ての素晴らしさを感じることができます! できるイベントとなりました。

みんなで家族月間
福岡県では11月を「ふくおか・みんなで家族月間」としており、各地で家族向けのイベントが多数行われました。11月7日はJR博多シティにて恋愛や結婚、子育てをテーマとした「ラブ・スク・ハッピー・家族フォーラム2015」を開催。さまざまな「シアワセ」のカタチをすることでの、結婚、出産を意識して、それぞれ自身のライフプランを描くきっかけになつたようです。

11月はふくおか・みんなで家族月間

